

郡山小



これがイチオシ

全校で元気なあいさつ

郡山小学校のイチオシは元気なあいさつです。今年は全校児童で「あいさつカード」を使い、「相手の目を見ながら」「名前を呼んでから」などのミッションに取り組み、明るく楽しいあいさつを目指しています。

自分から進んで相手を意識したあいさつをすることが目標です。今後は「顔はめパネル」も作成し、学校のキャラクター「ネグライダー」と共に元気にあいさつしながら交流を広げていきます。あいさつあふれる笑顔いっぱいの学校づくりを進めていきます。

学校名 仙台市立郡山小学校
所在地 仙台市太白区郡山行新田1の1
創立 1985年
電話 022(249)4672
校長 佐藤 優
児童数 288人

田植えや収穫 力合わせて

郡山小学校の5年生は総合的な学習の時間、地域の田んぼを借りて、米作りに挑戦しています。米農家の方が先生役で指導。化学肥料や機械を使いません。全ての工程が手作業です。4月に苗作り、5月に田植え、6月に草取りをしました。苗の種植えの時には、じょうろの水がなくなるまで育苗箱全体に水をたっぷりかけ、あぜ道を固めてザリガニやモグラが入らないようにします。田植えでは定規を使って苗を植えていき、1



地域と協力を得て、田植えをする5年生

手作業で米作りに挑戦

わが校わがまち スクール通信



次回は
鳴子小中(大崎市)
南光台東小(仙台市)

止まってくれた車に感謝

「ペコりしぐさ」大切に

菅谷台小学校には、大切な伝統があります。登下校時に横断歩道で止まってくれた車のドライバーに対し、感謝を込めてお辞儀をする「ペコりしぐさ」です。

「譲ってよかった」「また譲ろう」と、ドライバーに思ってもらえるよう、学校の誇りである伝統を、これからも大切に下級生へとつないでいきます。



「ペコりしぐさ」のゆるキャラ「ペコビヨ」



編集委員 遠藤愛童、北山結子、鈴木梨夏、高橋心弦、柳生絢音(6年)
指導教員 富士盛高也

菅谷台小



これがイチオシ

台湾の児童と対面交流

菅谷台小学校では、3年前から台湾の大同小学校と手紙の交換やオンラインを通して、互いの国の文化や学校紹介の交流してきました。6月30日、大同小から5、6年生20人と先生方が来校。対面での交流が実現しました。

ドッチビーや習字、地元の「利府祭人」を一緒に踊ったほか、給食も一緒に味わって特別な時間を過ごしました。言葉が通じなくても、最後はみんなが笑顔で打ち解けました。外国への興味を広げ、言葉の壁を越えて心をつなぐ素晴らしい機会になりました。

学校名 利府町立菅谷台小学校
所在地 利府町菅谷台4の40
創立 1999年
電話 022(356)7829
校長 田母神 理香
児童数 128人

てくてく100キロいざ進め

塩釜発着5日間 児童ら徒歩の旅



100キロ踏破を目指して歩く子どもたち=8月11日、多賀城市留ヶ谷

塩釜、多賀城、利府、七ヶ浜、松島の宮城県2市3町を子どもたちが、5日間かけて歩くイベント「みなとのまち100キロ徒歩の旅」が開催された。地元や宮城県富谷市、福島県南相馬市の小学4、6年の計12人が参加。塩釜神社を発着点とし、同行する学生ボランティアやスタッフのサポートを受けながら、歌枕「野田の玉川」(多賀城市)や「西行戻しの松公園」(松島町)を巡った。夜は小学校の体育館などに泊まり、団体生活を送った。

3年連続で参加した富谷小6年の南悠さん(11)は「暑さや雨の中でも諦めずに一步一步前進し、みんなでゴールできてうれしかった。みんなに声がけしたり、積極的に動くことができて自分の成長も実感できた」と笑顔で話した。NPO法人みやぎみなとまちづくり市民会議(塩釜市)の主催で、7月11日に開かれた。昨年度はコロナ禍の影響で規模を縮小して開催しており、100キロを歩く通常規模での実施は7年ぶり。

(8月25日朝刊より)

河北新報の仕事 がんばった

仙台市スチューデントシティ支局員紹介



東長町小6年

(8月27日)



東長町小6年、将監小6年

(8月28日)

西多賀小6年

(9月1日)

川前小6年

(9月2日)